

年 組 名前：

問1

JR甲府駅北口の観望会では、何を使って日食を観察しましたか。

.....

.....

問2

次に全国で日食が見られるのは、いつですか。

.....

.....

問3

今回の日食は、山梨県では、どのように見えましたか。

.....

.....

.....



一般社団法人「星つむぎの村」(北杜市主催の観望会で部分日食を待つ人たち
|| JR甲府駅北口よっちゃば広場 撮影・轟田圭吾)

日食ちよっと「見えた！」 県内でも観測

太陽の一部が欠けて見える部分日食が21日夕、日本列島の各地で観測された。国内での日食は昨年12月26日以来。山梨県内は曇りや雨で観察にはあいにくの天候となったが、北杜、甲府両市内などで一部が欠けた太陽の輪郭を確認できた。

北杜市須玉町下津金では午後4時すぎから午後6時すぎまで、雲に見え隠れしながら部分日食が見られた。

JR甲府駅北口よっちゃば広場では、一般社団法人星つむぎの村が観望会を開き、家族連れや学校帰りの学生ら30人以上が配布された日食グラスで観察。雲が太陽にかなり見えにくい状態ではあったが、時折「見えた」と喜び子どもたちの歓声が上がった。

その後、観望会は雨天で中止となり、甲府西中3年の田中真茄香さんは「欠け始めたころに少し見えたが、すぐに雲がかかってしまった。残念だったが、久しぶりにみんなが集まるのができてうれしかった」と話していた。

甲府・県立科学館でも観望会が開かれ、親子連れら約40人が参加。一部が欠けた太陽の輪郭を確認できたが、降雨のため途中で中止に。駿台甲府小3年の矢崎大智君は「楽しみにしていたが、見られずに残念」と話していた。

次に国内で部分日食が起こるのは2023年4月20日だが、その際に見ることができるのは九州の南部など一部地域のみ。全国で日食が見られるのは10年後の30年6月1日で、北海道の多くの地域では金環日食を見られそうだ。

〈渡辺真希、穴山菜津美(共同)〉

(2020年6月22日付 山梨日日新聞 22面)